

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)

【公開番号】特開 2006-40944 (P2006-40944A)

【公開日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報 2006-006

【出願番号】特願 2004-214534 (P2004-214534)

【国際特許分類】

H 0 1 L 33/00 (2006.01)

H 0 1 L 23/50 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 33/00 L

H 0 1 L 23/50 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 5 日 (2008.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被照射体に相対する位置に複数の紫外線発光ダイオードを配置するとともに、これら被照射体と発光ダイオードが相対移動可能に設けられた紫外線照射装置において、

前記発光ダイオードは前記相対移動方向に沿うとともに相互に等しい間隔となる縦複数列と、前記相対移動方向に直交するとともに前記縦複数列の相互間隔と同一の相互間隔となる横複数列との各直線上に前記発光ダイオードの中心が位置する状態で、前記縦列及び横列の方向に等間隔を隔てて配置されているとともに、前記縦列及び横列において、同一列で隣り合っている発光ダイオード間に、隣接する別の列の発光ダイオードの中心が位置するように配置されていることを特徴とする紫外線照射装置。

【請求項 2】

前記発光ダイオードは、基板に着脱自在に設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の紫外線照射装置。

【請求項 3】

前記発光ダイオード数個をユニット化して当該ユニット単位で発光ダイオードが基板に着脱自在に設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の紫外線照射装置。

【請求項 4】

前記発光ダイオードは、被照射体の平面積に応じて発光領域が制御可能に設けられていることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の紫外線照射装置。

【請求項 5】

前記被照射体を支持するテーブルに、前記相対移動方向と直交する方向に沿う所定間隔毎に照度センサを配置したことを特徴とする請求項 1 ないし 4 の何れかに記載の紫外線照射装置。

【請求項 6】

前記発光ダイオードの複数個を一単位としたユニット毎、又は一個毎の照射能力が電流値及び / 又は電圧値によって検出されることを特徴とする請求項 1 ないし 4 の何れかに記載の紫外線照射装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記目的を達成するため、本発明は、被照射体に相対する位置に複数の紫外線発光ダイオードを配置するとともに、これら被照射体と発光ダイオードが相対移動可能に設けられた紫外線照射装置において、

前記発光ダイオードは前記相対移動方向に沿うとともに相互に等しい間隔となる縦複数列と、前記相対移動方向に直交するとともに前記縦複数列の相互間隔と同一の相互間隔となる横複数列との各直線上に前記発光ダイオードの中心が位置する状態で、前記縦列及び横列の方向に等間隔を隔てて配置されているとともに、前記縦列及び横列において、同一列で隣り合っている発光ダイオード間に、隣接する別の列の発光ダイオードの中心が位置するように配置される、という構成を採っている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明は、前記被照射体を支持するテーブルに、前記相対移動方向と直交する方向に沿う所定間隔毎に照度センサを配置することが好ましい。